

～応援者(送迎者)、チーム関係者用～

1 応援者(送迎者)、チーム関係者ができる感染予防対策概要

- 1) 3密を避けることを徹底する。
ソーシャルディスタンスとしてできるだけ2m最低1mを目安に間隔を空ける工夫を行う。
- 2) 個人でできる感染症対策(マスク着用・手洗い・うがい・咳エチケット・体調管理など)を徹底する。
- 3) 大会1週間前から当日、及び大会後2週間分の体調チェックを実施する。発熱などの症状があった場合は主催者に連絡する。

2 応援者及び送迎者における感染予防対策

- 1) 応援者
 - ・保護者などの応援来場はご遠慮ください。
- 2) 送迎者
 - ・集団での利用を避け、時差来場に協力をお願いします。

3 チーム関係者(監督及び顧問、コーチ、マネージャー)における感染予防対策

- 1) 入場
 - ・当日受付時には、体調管理チェックシートを提出(提出ない場合は競技場内への入場は不可。ただし、検温を受検し37度未満であれば入場を認める場合がある)→IDカード受取→消毒→定められた入場口から入場する。
 - ・受付にて不確かな体調者がある場合は、その場で検温し、状況により参加を許可しない。
 - ・再入場の際は、IDカードを示して入場をする。
 - ・チーム関係者は、所属が証明できるものを提示していただくことがあります。
- 2) 競技会中
 - ・手洗い・うがい・洗顔を行う。
 - ・声を出しての応援、集団での応援を行わない
 - ・混雑回避のため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを最小限にする。
 - ・ウォームアップ場の観戦を禁止する。
- 3) 競技会終了後
 - ・速やかに退場、帰宅する。帰宅の際、商業施設等に立ち寄らず自宅に帰宅する。
 - ・帰宅後、手洗い、うがい、洗顔、消毒(できれば入浴まで)をする。
 - ・競技会後、2週間の体調管理・検温をする。発熱等、症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの開催自治体の保健衛生部局(保健所・帰国者接触者相談センター)に報告するとともに、大会主催者に報告をお願いします。